

「月の動きまとめカード(2)」

お茶の水女子大学附属小学校教諭

お茶の水女子大学サイエンス&エデュケーションセンター研究員

田中 千尋 Chihiro Tanaka

「月の形早見盤」とちがって、このカードは簡単に完成できる。「工作」と呼べるほどのものでもなく、はさみとセロファンテープだけで、子どもでも短時間で作業が完了する。



まず、風景のイラスト(山と海の風景)を切り取る。左右には少し余白があったほうが良い。空と山の境界線は、できるだけ正確に切り取ったほうが、仕上がりがよくなる。



海の風景も丁寧に切り取る。中央(南)にある灯台も、正確に切り取って、風景の中に出っ張っているように仕上げる。切り取った風景は、ノートを横にした下部に、セロファンテープで貼り付ける。その時、切り取った風景の下面、側面の直線に切った部分だけを貼る。風景と空の境界線は、開いたままにしておく。ちょうど「ポケット状」になり、そこに「月カード」を差し込むという仕組みだ。



このままカードを入れると、低い高度の月が風景に隠れてしまうので、「底上げ」するために、ステープラーで2か所、ストッパーを作っておく。「西」「東」の文字の横あたりがちょうど良い。



次に「月カード」4枚を切り取る。必ず所有者不明のカードが出るので、裏に名前を書かせたほうが良い。



できあがったカードを、「風景のポケット」に入れると、めでたく完成。風景の中で、月がどんな風に動いて見えるかがイメージできる。こんなに単純な仕組みの教材でも、自分のノート上で、カードを差し替えられることが、子どもにとっては嬉しいのだろう。あちこちで「できたー!」と、歓声があがっていた。